

社会福祉法人よるべ会

令和元年度事業報告書

令和2年3月31日

## 【社会福祉法人よるべ会】 令和元年度 事業報告書

### (1) 年間計画の執行状況について

#### ①権利擁護の確立

- \* 毎月の ISO 品質委員会において各事業所実施状況の報告・確認を行っている。
- \* 権利擁護に関する各事業所の内部研修の実施、学習会の参加等

#### ②人材確保・育成への取組

- \* 毎月の ISO 品質委員会において各事業所実施状況の報告・確認を行っている。
- \* 初任者研修は4月7日実施（7名参加）
- \* チュータ制度の役割分担等を執行責任者会での検討を基に7月運営会議で確認・実施
- \* 8月 常勤職員の意向調査、意見集約、面談の実施
- \* 10月 ISO内部監査における各事業所の意見集約、品質委員会での検討

#### ③業務の検証と改善

- \* 法人内の各申請書・発注書・届出書等を執行責任者会での検討を基に8月運営会議で確認・実施
- \* 事業報告書等について執行責任者での検討を基に8月運営会議で確認10月上旬報告より実施
- \* 8～9月 全事業所照明器具LED化の実施
- \* 10～11月 通所施設（コスタ・二宮、梅香園）厨房委託業者の見直し選考実施
- \* 次年度事業計画書記載様式の検討・作成

#### ④管理体制の強化

- \* “これからのよるべ会”づくりを検討・継続している。
- \* 法人事業の継承と発展の土台づくりを目指し、課長職等の力量の強化を図る為の人事異動等の検討・実施（3月3日人事異動内示）
- \* よるべ会情報公開規程の検討、作成、実施

#### ⑤職員労務管理の改善

- \* 限定常勤職員の給与改善を4月より実施
- \* “働き方改革”について職員全体の理解を図るため9月21日みたけ社労士による「働き方改革関連法のポイント」の研修を実施
- \* 2月 執行責任者会でみたけ社労士を迎え「働き方改革関連法」への具体的対応の検討

#### ⑥地域社会との連携

- \* 自治会委員会や各種行事への積極的参加と夏祭り等の開催（7月20日梅香園納涼祭、8月3日よるべ夏祭り（わらべの杜にて））した。
- \* 9/8 橘北地区健民祭、9/16 橘北地区社協敬老会の参加、10/20 よるべふれあい祭「コスタ・二宮」、10/26 秋の感謝祭「梅香園」の開催、11/13 川東仏教会バザー、12/8 県西地区障害児・者文化事業（マロニエ）への参加

#### ◎新型コロナウイルス感染症対策について

法人内事業所において2月以降、感染防止に向けた日常的な衛生管理対応の徹底を図り、さらに3月に入ってからの国・県の通知・要請に基づき必要な配慮、各種行事や会議等の中止等

の制限を伴って事業運営を継続している

◎12月17日神奈川県指導監査・実地指導（よるべ沼代・梅香園・わらべの杜）

(2) 事業運営（令和2年3月31日現在）

【事業運営】（令和2年3月31日現在）									
事業所名	よるべ沼代 (障害者支援施設)		コスタ・二宮 (障害者支援施設)		梅香園 (障害者支援施設)		わらべの杜 (福祉型障害児入所施設)		
実施事業	施設入所支援	定員40名 (現員39名)	就労継続支援 B型	定員25名 (現員25名)	就労移行支援	定員6名 (現員2名)	施設入所支援	定員40名 (現員39名)	
	生活介護	定員40名 (現員40名)	生活介護	定員20名 (現員21名)	就労継続支援 B型	定員23名 (現員23名)	短期入所	定員4名	
	短期入所	定員4名			生活介護	定員22名 (現員24名)			
事業所名	障害者支援センターぼけっと (就業・生活支援センター)		かめりあ・ポラリスホーム (計8棟)		あずさの家 (計3棟)		どーむ (児童発達支援事業所)		
実施事業	就業・生活 支援センター	登録413名	かめりあ ホーム	定員33名 (現員29名)	共同生活援助	定員21名  (現員17名)	児童発達 支援事業	定員10名	
	地域就労 援助センター		ポラリス ホーム	定員13名 (現員12名)				契約16名	
	計画相談支援	契約91名							

(3) 理事会・評議員会開催状況

\* 監事監査 令和元年 5月29日

\* 理事会

開催日	議案	出席者
6月7日	第1号議案 平成30年度事業報告(案) 第2号議案 平成30年度計算書類及び財産目録(案) 第3号議案 任期満了に伴う役員候補者の推薦 第4号議案 評議員の辞任に伴う新評議員の推薦 第5号議案 評議員選任・解任委員会開催 第6号議案 定時評議員会開催について	理事 6名 監事 1名 顧問 1名
6月21日	第1号議案 理事長の選定 第2号議案 顧問の選任	理事 7名 監事 2名 顧問 1名
10月17日	第1号議案 令和元年度資金収支第1次補正予算(案) 第2号議案 定款変更(案) 第3号議案 令和元年度第2回評議員会開催について	理事 7名 監事 1名 顧問 1名
3月13日	第1号議案 令和元年度資金収支第2次補正予算(案) 第2号議案 令和2年度事業計画(案) 第3号議案 管理者の任免 第4号議案 令和2年度当初予算(案) 第5号議案 諸規程の改定(案) 第6号議案 令和元年度第3回評議員会開催について	理事 7名 監事 1名 顧問 1名

\*評議員会

開催日	議案	出席者
6月21日	第1号議案 平成30年度計算書類及び財産目録(案) 第2号議案 新役員(理事・監事)の選任について	評議員7名 監事 2名
10月25日	第1号議案 令和元年度資金収支第1次補正予算(案) 第2号議案 定款変更(案)	評議員7名
3月27日	第1号議案 令和元年度資金収支第2次補正予算(案) 第2号議案 令和2年度事業計画(案) 第3号議案 令和2年度当初予算(案)	評議員7名

\*評議員選任解任委員会

6月7日	相原氏・田口氏の退任に伴い伊藤氏・周東氏を選任	出席 3名
------	-------------------------	-------

(4) 契約・入札処理及び固定資産について

①よるべ沼代

\*建物・設備の経年劣化による、食堂床水漏れ(株オフィスコジマ 313,199円)・水道漏水(菱和設備株1,694,160円)・スプリンクラー不具合等修繕(株大林組 388,800円)・FMバルブ交換修理(菱和設備株781,000円)・3階居室転落防止用柵設置工事(株オフィスコジマ 440,000円)・食堂ベランダ転落防止柵(株オフィスコジマ 106,700円)・寮内ガラス交換(原硝子店 163,350円)・軽作業棟雨漏り修理(株オフィスコジマ 100,000円)・3階ホール排煙窓ラッチ交換(株オフィスコジマ 100,000円)・居室天井雨漏り修理(株オフィスコジマ 290,400円)

②各施設照明 LED化

\*梅香園 8/4.18(株稲妻屋・リース 37,236円/月)  
\*よるべ沼代(55,351円/月)・コスタ二宮(18,240円/月)・SP企画(5,661円/月)・わらべの杜(46,545円/月) 9/17~25 スリーベネフィツ株(レンタル)

③公用車の購入

\*よるべ沼代 養鶏送迎車(ダイハツアトレー中古車) 487,993円 (有)中原自動車  
\*よるべ沼代 通院支援用車(スズキソリオ) 2,238,000円  
自動車総連・ミクニ労組寄付車両  
\*わらべの杜 どーむ送迎用車(日産キャラバン) 1,210,000円  
株フジカーズジャパン

④梅香園

\*トイレウオシュレット工事(有)武井設備・190,300円)・作業室エアコン交換工事(松浦建設株977,350円)・事務室エアコン交換工事(松浦建設株497,200円)

⑤コスタ二宮

\*ラベルプリンター2台(ユタカ産業株202,400円・244,640円)

⑥わらべの杜

\*駐車場整備工事(株オフィスコジマ 999,000円)

(5) 法人全体職員状況

【法人職員状況】（令和2年3月31日現在）																
職種	よるべ沼代		コスタ・二宮		梅香園		わらべの杜		ぼけっと		かめりあ・ボラリス		あずさの家		どーむ	
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
管理者	1(兼)		1		1(兼)		1(兼)		1		1(兼)		1(兼)		1(兼)	
サビ児管	1(兼)		1(兼)		2		1				2		1(兼)		1	
医師																
看護師	1(兼)		1(兼)		1(兼)		1(兼)									
栄養士	1(兼)		1(兼)		1(兼)		1(兼)									
生活支援員	13	8	3	4							2		3			
支援員			4	3	10	2	1	1	6		3		1(兼)			
保育士							5	5							1	3
児童指導員							8	10							1	
相談支援専門員	1(兼)		1(兼)		2(兼)		1(兼)		1.5(兼)							
世話人											13		11			
運転手						2	1									
事務員	3				1											
その他						2	1									

(6) 主な会議等

会議名	開催日
全体職員会議	4/20・8/17・9/21
執行委員会	5/1・5/27・6/24・7/29・8/26・9/30・10/29・11/25・12/23・1/14・2/25・3/30
執行責任者会	4/15・5/13・6/5・7/16・8/5・9/9・10/7・10/21・11/11・12/9・1/10・1/15・1/27・2/12・2/20・3/2・3/4・3/13
運営会議	4/15・5/13・6/5・7/16・8/5・9/9・10/7・11/11・12/9・1/14・2/12・3/2
ISO品質委員会	5/1・5/27・6/24・7/29・8/26・9/30・10/29・11/25・12/23・1/27・2/25・3/30

(7) 労働安全衛生

\*職員健康診断を実施（7月3・10日）

(8) JSYネット（寿徳会・至泉会・よるべ会）合同苦情解決システム

\*8月30日定例会・研修「苦情対応の基準」（かながわ運営適正化委員会より）及び  
報告会 はだの松寿苑「スカイホール」にて14:00～16:00

\*3月4日定例会 コロナウイルス感染症対策により中止

(9) 広報活動

\*かわら版 2回/年 夏号8月発行 冬号1月発行

\*ぼけっと通信 4回/年

\*ホームページ 順次更新

## (10) 法人行事・研修等

月	行事・家族会他	理事会・研修会他
4	1(月) 辞令交付	20(土) 全体職員会議(よるべ沼代)
	3(水) 花見(よるべ沼代社協招待行事)	
	6(土) よるべ会保護者会役員会	
	7(日) 沼代地区祭り	
	9(火) みのり会総会	
	14(日) ODSフェスタ(梅香園)	
	20(土) よるべ会保護者会総会	
5	8(水) 「どーむ」開所式	29(水) よるべ会監事監査
	10(金) ハイキング(梅香園)	
	19(日) 橋北地区「人とペット防災フェスティバル」	
6	12(水) 歴史そば会(梅香園)	7(金) よるべ会理事会・評議員選任解任委員会
	13(木) 内科検診(梅香園)	13(木)～14(金) セルフセンター研修大会(東京)[三瓶直]
	15(土) よるべ会保護者会・清掃	18(水)～20(金) ISO内部監査
	18(火) 川東仏教会バザー	21(金) よるべ会評議員会・理事会
	28(金) よるべ沼代日帰り旅行①	27(木)～28(金)セルフ関東(群馬)[齋藤・額田]
7	3(水) 健康診断(よるべ沼代)	4(木)～5(金) セルフ総合研究(徳島)[横尾・秋澤]
	10(水) 健康診断(わらべ・コスタ)	10(水)～11(木) 福祉協会関東(横浜)[草山・三浦]
	20(土) 梅香園納涼大会	22(月)～23(火) 福祉協会施設長会(横浜)
	20(土) コスタ二宮流し素麺大会	
8	3(土) よるべ夏祭り	17(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	10(土)～15(木) 夏休み	29(木)～30(金) グループホーム研修会(幕張)[廣澤]
	17(土) 歯科検診(よるべ沼代)	30(金) JSYネット定例会
	19(月)～20(火) わらべの杜旅行	
9	6(金) 梅香園旅行	21(土) 全体職員会議・研修会(よるべ沼代)
	8(日) 健民祭(よるべ沼代・わらべの杜)	
	11(水) 健康診断(梅香園)	
	14(土)～15(日) コスタ二宮旅行	
	16(月) 橋北地区敬老会(下中小学校)	
	21(土) よるべ会保護者会	
	27(金)～28(土) よるべ沼代旅行②	
10	10(日)～ ISO内部監査	17(木) よるべ会理事会
	20(日) よるべふれあい祭り(コスタ・二宮)	25(金) よるべ会評議員
	26(土) 秋の感謝祭(梅香園)	25(金) よるべ会35周年感謝の集(報徳会館)
		22(火)～24(木) 福祉協会全国(鹿児島)[結城・三瓶美]
11	7(日) 川東仏教会バザー	1(金) 厨房業者選考説明会
	21(木)22(金) ISO維持審査	14(木)～15(金) 日中活動支援部会(札幌)[越後]
	27(水) 武蔵さんお別れ会	26(火) 厨房業者プレゼンテーション
		28(木)～29(金) 障害者施設支援部会(新潟)[中村]
12	7(土) 県西地区文化事業(マロニエ)	2(月)～3(火) 児童発達支援部会(大阪)[勝又]
	14(土) よるべ会保護者会・清掃	28(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	24(火) ミクニ労働組合車贈呈式	
1	11(土) よるべ会新年会	
	22(水) ラン展	
2	15(土) よるべ会保護者会役員会	15(土) 全体職員会議(わらべの杜)
	23(日) 消防団合同訓練(よるべ沼代・わらべの杜)	
3	3(火) 人事異動内示	13(金) よるべ会理事会
		14(土) 全体職員会議(わらべの杜)
		27(金) よるべ会評議員会

## 【よるべ沼代】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

よるべ会の基本方針に基づき、質の高いサービス提供ができる様、計画的に目標設定を行い、様々なニーズに対応する。入所利用者の高齢化・重度化に対処するために、「生活介護」「施設入所支援」「短期入所」「日中一時」「計画相談」事業をさらに充実させ、それぞれの事業で必要な支援を展開する。また、「コスタ二宮」「梅香園」「ぼけっと」「わらべの杜」や、共同生活援助事業等と常に連携を持ちながら、利用者一人一人の存在を尊重しつつ、自立に向かう意識を高める。その為の力を生み出す道筋つくりと、施設生活の質と満足度の向上に向けたと環境づくりを積極的・計画的に実施する。

### 〔2〕 取り組みと状況報告

高齢化と障がい重度化・多様化による様々な課題に直面しています。病気による入退院や介護施設の移行が必要な方々が増え、職員には障害の専門知識や技術以外にも、介護技術と知識が必須です。医療機関や介護サービスとの連携も慎重に対応しています。また短期利用者について、緊急性の高い方や重度の方の利用が増えてきています。個別対応が求められ、通常の日勤業務が困難な場面が増えてきています。現在入所者の欠員が1名ですが、短期入所を経て入所に繋げられるような道筋づくりを行っています。

### 〔3〕 次年度に向けて

質の良いサービス提供の為にチームワークの向上を目標にします。コミュニケーションの場である終礼と主任・寮会議を有効活用して、相互協力ができる体制を強化したいと思います。権利擁護に対する意志の向上、日中活動や日課の見直し、業務の工夫・改善を推進します。健康面と衛生面も重点目標とし、看護師、管理栄養士と連携を取り、状況の把握や対応を積極的に行います。

### 〔4〕 利用者状況

■ 年齢区分 (令和2年3月31日現在)									
	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	平均年齢	計
男	1	3	1	4	6	6	2	50.7	23
女	1	2	0	3	1	5	4	55.9	16
計	2	5	1	7	7	11	6	52.9	39
最小年齢 : 18才 ・ 最高年齢 86才									
■ 障害支援区分 (令和2年3月31日現在)									
	非該当	1	2	3	4	5	6	平均区分	計
男	0	0	0	0	3	12	8	5.2	23
女	0	0	0	0	4	7	5	5	16
計	0	0	0	0	7	19	13	5.1	39

■ 在所年数（令和2年3月31日現在）									
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	計
男	1	1	2	3	4	0	1	11	23
女	1	0	0	0	2	2	2	9	16
計	2	1	2	3	6	2	3	20	39

■ 開所日数および利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）														
【生活介護（生産型）】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		22	21	20	21	20	20	20	21	19	21	19	22	246
実人数	男	25	25	25	25	24	24	24	24	24	24	24	24	292
延べ利用日数		542	520	490	499	470	472	475	498	470	492	444	527	5899
実人数	女	16	16	15	15	15	14	15	14	16	16	16	16	184
延べ利用日数		348	299	295	308	285	281	295	287	304	337	302	349	3690

■ 開所日数および利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）														
【施設入所支援】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	男	24	23	23	23	22	22	22	22	22	22	22	23	270
延べ利用日数		694	707	690	682	670	659	682	660	676	670	616	713	8,119
実人数	女	16	15	15	15	15	15	16	16	16	16	16	16	187
延べ利用日数		468	446	443	455	456	411	459	414	455	484	447	496	5,434

■ 令和元年度 新規入所者年齢（令和2年3月31日）						
	10～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	計
男	1	0	0	1	0	2
女	2	0	0	0	0	2

■ 令和元年度 退所者状況（令和2年3月31日）				
	自宅	介護施設	他	計
男	1	1	0	2
女	0	1	1	2

■ 工賃実績（前年対比） 4月～3月までの一人当たりの月平均			
	平成30年度実績	令和元年度実績	備考
生活介護（生産型）	¥3,511-	¥2498-	養鶏班11名

## 〔5〕 短期入所・日中一時事業

【日中一時利用者状況】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	13
延べ人数	4	3	4	5	3	4	3	4	5	3	5	6	49
延べ利用時間数	24	18	24	30	18	34	25.5	34	42.5	25.5	46.5	51	373

【短期利用者状況】													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	12	12	17	11	11	16	12	11	12	9	9	11	143
延べ人数	20	24	23	19	17	24	19	19	19	14	20	24	242
延べ利用日数	78	77	77	62	43	88	47	52	77	66	72	88	827

## 〔6〕 相談支援

新規相談 1件、モニタリング 30件、再計画 8件



〔7〕令和元年度 まとめ ※各事業所の課題および実施状況

(評価 ○・△・×)

項目	具体的活動	実施者	到達点	実施状況	評価
権利擁護	<p>【権利擁護の確立】 権利擁護の基礎研修、学習を通して必要な知識やスキル、権利擁護に対する意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己チェック表を活用し自己評価、振り返りを実施。チェック表の集計、課題の抽出、改善を図る。</li> <li>・KWネットの取組み</li> </ul>	寮主任 課長	各自で振り返り、権利擁護に対する意識の向上、改善が実感できた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の終礼と毎月の寮会議、医務会議、サービス会議等で、定期的に振り返り、議論をする事が定着し、意識の向上に繋がりました。また、利用者からの声を聞く機会として、代表者会議や太陽の会を活用し、意見を確認しています。権利擁護研修の機会と虐待防止マネージャー研修を受講する事が次年度の課題です。</li> <li>・年間6回、相談日を設定し相談員の方との面談を実施しています。継続する中で良い関係性が生まれ、話を聞いてもらえることが安心感につながっています。</li> </ul>	△
人材育成	<p>【人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援力向上のため、内部研修の実施、外部研修への積極的な参加</li> <li>・4つのグループに分かれ、法人内外の事業所の見学を実施。現場の取組みにつなげる</li> </ul>	寮主任 課長	研修や見学から得たものから、新たな取組みを4つ実施。積極的に活用する	新たな取り組みの導入（生活介護事業の内容改善、権利擁護・行動制限の学習、介護技術や食事）は、少しずつですが生活の質の向上に繋がっています。他施設と相対的に比較する事で自分たちの業務内容を再認識する事は職員の資質向上に有効でした。見学実施後の報告や発表の場が作れなかった事が次年度の課題です。	○
業務の検証と改善	<p>【業務の検証と改善】</p> <p>(1)業務状況を確認。必要な業務と簡素化できる業務の見極めを行う。各日中活動班で改善案を出し会議の場で活動の報告、状況の共有を進める。</p> <p>(2)生活面についての意見箱（施設長宛て）設置し職員からの改善案を募り、検証。必要な改善を進める。</p>	各主任 施設長	<p>(1)日中活動班で改善案を各1つ以上実施</p> <p>(2)生活面での改善案を2つ以上実施。職場の整理整頓が習慣化。職場での働きやすい環境づくり、環境美化への意識が高まった</p>	<p>(1) 毎月の確認と見直しを実施する機会は、仕組みとして定着しています。毎月振り返り確認する事で、業務の効率化に対する意識が向上しました。業務の簡素化については、当事者では分かりにくい為、他施設との比較や管理職の客観的な視点が有効でした。</p> <p>(2) 意見箱は抽出の機会として有効ですが、投函件数が少なく検討が必要です。</p>	○

## 〔8〕 防災

実施月	実施内容	対象	振り返り
6/24 (月)	【夜間訓練】 避難・通報・消火訓練	職員 利用者	地震や台風などの自然災害を考慮した対応などが課題です。
1/27 (月)	【日中総合訓練】 避難・消火・通報	職員 利用者	自衛消防組織図に基づき、避難誘導と消火訓練を実施しています。防災機器の取り扱いについて周知する事が今後の課題です。
1/23 (日)	【22分団合同訓練】 避難・通報・消火訓練	職員 利用者	22分団合同訓練を実施。地域との繋がりを今後継続して行います。

## 〔9〕 リスクマネジメント (事故報告)

種類	回数	内容等
転倒/転落	4	食堂での転倒。ベランダでの転倒。居室窓からの転落。外出先での転倒。
服薬	3	薬の準備なし服薬飲ませ忘れ。日付間違い。
ケガ	2	ベランダでの転倒による左側頭部打撲。外出先での転倒
利用者トラブル	3	他者を押した。口論。利用者間での私物のやり取り
車両	4	ガードレールに接触。脱輪。走行中パンク。他車への接触。
その他	0	

### ■ <重大事故> ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
10月26日	その他	居室窓からの転落	通院・通報	居室窓内外へ柵を設置している。
1月1日～1月15日	感染症	インフルエンザA型	通院・隔離	予防薬を用意し感染予防を行う。

## 〔10〕 苦情解決

### ■ 苦情件数 1件

日付	内容	対応・対策
10月30日	職員による、利用者への伝達や対応に問題があり、利用者との食い違いが発生。	本人・職員を含めた四名で話し合いを行い解決。

写真は  
割愛  
しました

敬老の日 集合写真

写真は  
割愛  
しました

クラブ活動の様子

写真は  
割愛  
しました

養鶏班 一泊旅行

## 【よるべ沼代地域生活支援課】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

入居者それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせた支援を展開し、より豊かな生活を実現するために各職員の支援スキルの向上を目指す。

入居者の高齢化に対応した支援の在り方を検討し、ハード・ソフト両面からの改善を行う。また若い世代の利用者の入居が今後も予想されるので、それぞれの世代の要望・ニーズを整理し、数年先のホーム運営を見据えた体制を整えていく。

提供するサービスの本質を整理し、質の良いサービスを提供できるよう努力していく。また、学びを怠らず、常に最新の情報を収集し支援に活かしていく。

### 〔2〕 取り組みと状況報告

令和元年6月1日に8棟目のグループホーム「ラパ・ゆりが丘」を開設し、5名の入居者を新たに迎えた。

グループホームの利用者はここ数年高齢化が進み、高齢化への対応を中心とした体制や支援の検討を継続して行い、実施してきた。一十八年度にはみよびの杜から5名の若い世代の利用者を迎え、幅広い世代構成となり、音楽クラブの様子、ライフスタイルやライフステージに合わせた支援、を改めて考えながら取り組むこととなった。個別支援計画を半年ごとに作成して、支援員や世話人が連携しながら個々のニーズへ対応した。定期的な医療機関への受診を支援し、日々の食事提供だけではなく、休日の食事への助言も心掛け、健康管理に繋がる工夫を実施した。

休日の職員配置を増やし、付き添いや引率が必要な買い物支援を提供できるようにして、余暇の対応を図った。日常的に利用者が取り組んでいる編み物などの作品を地域の皆さんがご覧いただけるような作品展を企画開催し交流を図った。

空き部屋を中心にグループホームの体験機会を年間を通じて行った。特にコスタ二宮の利用者を中心に実施した。

### 〔3〕 次年度に向けて

幅広い世代がいらっしゃる、入居者一人ひとりのニーズをきちんと捉えた個別支援計画を立案する。その支援を提供していくために、職員一人ひとりが正しい支援スキルを備え発揮できるように、学びを怠らず教育の機会を持つ工夫をしていく。正確性や効率性を念頭に置いた業務の在り方を意識して、改善への視点を忘れずに、スムーズな業務運営が出来る集団を目指す。

#### 〔4〕利用者状況

■年齢区分（令和2年3月31日現在）									
	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	平均年齢	計
男	5	3	1	9	4	5	2	43.9	29
女	0	1	0	2	1	5	3	59.6	12
計	5	4	1	11	5	10	5	51.7	41

最小年齢：19才 ・ 最高齢 80才

■障害支援区分（令和2年3月31日現在）									
	非該当	1	2	3	4	5	6	平均区分	計
男	1	1	15	6	5	1	0	2.6	29
女	0	0	4	5	3	0	0	2.9	12
計	1	1	19	11	8	1	0	2.8	41

■在所年数（令和2年3月31日現在）									
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	計
男	3	4	3	3	5	5	1	5	29
女	0	0	2	1	2	2	1	4	12
計	3	4	5	4	7	7	2	9	41

■開所日数および利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）													
【かめりあホーム】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	17	17	20	19	19	18	18	18	17	17	18	18	180
延べ利用日数	504	505	581	582	522	545	556	539	540	535	526	563	5534
実人数	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	12	83
延べ利用日数	339	344	341	352	345	334	345	329	339	331	329	372	2532

  

【ポラリスホーム】	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	12	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	133
延べ利用日数	338	350	341	352	349	330	341	330	338	336	319	341	4065
実人数	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
延べ利用日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366

■令和元年度 新規入所者年齢（令和2年3月31日）						
	10～20歳	21～30歳	31～40歳	41～50歳	51～60歳	計
男	3	0	1	0	0	4
女	1	0	0	0	0	1

■令和元年度 退所者状況（令和2年3月31日）			
	自宅	介護施設	他
男	0	2	1
女	0	0	0

〔5〕令和元年度 まとめ ※各事業所の課題および実施状況

(評価 ○・△・×)

項目	具体的活動	実施者	到達点	実施状況	評価
利用者支援	それぞれのライフスタイルやライフステージに合わせた支援を行うため、ニーズをしっかりと把握し、質の良いサービスを提供できるよう目指す。	全職員 全世話人	利用者の安心・安全・満足した生活	高齢化している中で、ここ数年で若い方も入居している。それぞれのニーズに合わせて支援するよう、支援計画の立て方を見直し、一人ひとりにあった支援を行うよう工夫してきた。	△
権利擁護	権利擁護の基礎研修、学習を通して必要な知識やスキル、権利擁護に対する意識を高める。	全職員	意識の向上、改善が実感できた。(業務日誌に権利擁護に関する記述が増えた)	昨年度より継続して意識を高めるための学習等行ってきた。昨年度に比べると権利擁護に対する理解や意識も高くなっており、学習の効果が出ている。	△
人材育成	支援力の向上を基に、法人事業所職員間の連携運動を図り、相互理解・協力づくりを進める。	全職員	ホームごとに新たな取組みを各1つ実施、定着した	GH研修への積極的な参加、内部での研修を行ってきた。職員・世話人より現状での課題等あげてもらい、GH見学を検討したが、上半期での実施はできなかった。	△
業務の検証と改善	業務の検証(一人一人の業務の確認)をし、必要な改善を行なう。また、働きやすい環境づくり、環境美化を進める	全職員	ホームごとに改善案を実施、1つ以上定着した。職場の整理整頓の習慣化	利用者の高齢化、世話人の減員から、必要な業務としてやるべきことが増えてきたこともあり、現状の把握を行ってきたが、改善につながるような活動にはつながっていない。	△

〔6〕防災

実施月	実施内容	対象	振り返り
5月、7月、9月、11月、1月、3月	自主点検	職員 利用者	各 GH の検査対象（消火器等）を基準と照らして検査した。年間2回、業者委託による検査を行った。
9月	【避難訓練】 大規模災害訓練（避難・通報・誘導）		各 GH が大規模災害にあった時に、世話人の誘導の元、速やかに避難場所までの移動ができた。
3月	同様		
まとめ	年間を通して予定した防災訓練や点検等を実施した。今後も維持していきたい。		

## 〔7〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒/転落	1	自転車からの転落
服薬	0	
ケガ	0	
利用者トラブル	0	
車両	0	
その他	0	

### ■ <重大事故> ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
5月15日	骨折	雨の中ゴミ捨てに行った際に転倒	救急搬送	救急車にて山近記念総合病院へ搬送。緊急手術を実施。全治1か月の入院。

## 〔8〕 苦情解決

苦情件数 0件

写真は  
割愛  
しました

お台場ガンダムを観覧

写真は  
割愛  
しました

GHでのBBQ

写真は  
割愛  
しました

作品展看板

## 【コスタ・二宮】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

- ・「就労継続支援 B 型」では、食品作業を中心とし一般企業での就労が困難な方に対して働く場や生産活動の場を提供します。また、安定的な工賃を保障し地域生活維持の一助になるための生産活動をします。
- ・「生活介護」では、豊かな社会生活を過ごすために、学習・創作活動・レク等の個別のニーズに沿ったプログラム設定し実施します。また、利用者の方のために生産活動として、「小田原市観光協会」「神奈川セルフ共同受注」等の作業を用意・提供します。
- ・経営基盤安定の観点から、年間計画を基に開所日を設定しレク等を実施し昨年度と同じ開所日を目指します。

### 〔2〕 取り組みと状況報告

- ・「就労継続支援 B 型」では、製パン班に 2 名の方が新たに所属となりました。食パン販売は、委託店舗が堅調で売り上げを維持しています。昨年度から始まったコッペパン製造に関しましては、二宮町の保育園等からの注文が入るようになっていました。製麺班は、学校給食・委託店舗での販売ほか、施設給食では新たに「湘南老人ホーム」「百合ヶ丘保育園」への納品が始まっています。
- ・利用者支援において、今までは製麺班・製パン班と画一的な利用が主でした。利用者の相互利用を推し進めることにより、作業支援のマンネリ化の打破及び適性が広がるといった良い面が多々出ています。
- ・「生活介護」は、SP 企画が 4 月～全利用者が移行しました。新たな取り組みとしては、秦野の公共施設等を、利用した月 1 回「クッキング」が始まりました。利用者の新たな面が見られる、有意義な活動となっています。生産活動に関しましては、「共同受注」からの紹介で“駐車場清掃”が 2 か所始まりました。
- ・当初、年間開所日＝262 日を計画していました。3 月“新型コロナウイルス”の影響で土曜日 2 日の開所を止む無く中止にしましたので、260 日の開所日となりました。

### 〔3〕 次年度に向けて

- ① SP 企画「生活介護」、食品部門「就労継続 B 型」は一体的な運営をします。
- ② 感染症対策“新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等”を計画的に実施します。
- ③ 権利擁護意識の向上を図る為、虐待防止マネージャーを中心とした計画的な所内研修を実施します。

## [4] 利用者状況

【利用者状況】									
■ 年齢区分 (令和2年3月31日現在)									
	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳以上	平均年齢	計
男(B型)		1	3	4	1	2	1	36	12
女(B型)		2	2	4	1	3	1	50	13
男(生介)		1	6	3		1	3	47	14
女(生介)			1	2	1	2	1	56	7
最小年齢 : 20才 ・ 最高齢 80才									
■ 障害支援区分 (令和2年3月31日現在)									
	非該当	1	2	3	4	5	6	平均区分	計
男(B型)	2		4	4	2			2, 8	12
女(B型)	3		2	6	1	1		3, 1	13
男(生介)				4	7	3		3, 9	14
女(生介)			1	2	2	2		3	7
■ 在所年数 (令和2年3月31日現在)									
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	
男(B型)			1	1	2	3	1	4	
女(B型)			5	0	5	2	1		
男(生介)		2	2	4		1	4	1	
女(生介)		1	1	1	1	1		2	
■ 開所日数および利用者数・利用日数 (令和2年3月31日現在)									
【生活介護(生産型)】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開所日数		22	22	22	23	21	22		
実人数	男	15	15	14	14	13	13		
延べ利用日数		275	296	274	295	257	271		
実人数	女	7	7	7	7	7	7		
延べ利用日数		135	133	134	144	128	139		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開所日数		22	21	22	21	20	22	260	
実人数	男	14	14	14	14	14	14	◆	
延べ利用日数		280	277	300	273	262	300	3,360	
実人数	女	7	7	7	7	7	7	◆	
延べ利用日数		128	119	137	127	125	133	1,582	
【就労継続支援B型】									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月		
開所日数		22	22	22	23	21	22		
実人数	男	12	12	12	12	11	11		
延べ利用日数		263	260	244	226	218	226		
実人数	女	13	13	13	13	13	13		
延べ利用日数		259	266	266	270	230	249		
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
開所日数		22	21	22	21	20	22	260	
実人数	男	11	12	12	12	12	12	◆	
延べ利用日数		235	224	261	241	238	261	2,897	
実人数	女	13	13	13	13	13	13	◆	
延べ利用日数		244	251	269	250	239	264	3,057	
■ 工賃実績 (前年対比) 4月～R2年3月までの一人当たりの月平均									
	平成30年度実績	令和元年度実績	備考						
生活介護(生産型)	目標(4,300) 4,883	目標(5,500) 5,754	・共同受注(ネイルシール・ヘルプマーク・駐車増清掃等) ・製麺、製パン作業 ・施設外支援(柳川乳業)						
就労継続支援B型	目標(17,500) 18,649	目標(21,000) 22,045							



## 〔5〕相談支援

・新規相談＝0件、計画＝84件、モニタリング＝87件

## 〔6〕令和元年度まとめ ※各事業所の課題および実施状況

項目	具体的活動	実施者	到達点	実施状況	評価
権利擁護	権利擁護委員・虐待防止マネージャーを中心とし部内研修の実施、研修への参加。職員自己チェックの実施。意思決定支援の内部・外部研修。	草野 荒川	各企画が遂行され、権利擁護の意識向上が実感できた	職員自己チェックを2回実施し、職員の姿勢について振り返りを行った。 意思決定支援の研修を実施、具体的な取り組みが支援の中で行われるようになった。職員の意識向上が見られたと評価できる。	○
人材育成	専門分野に特化した職員育成。①HACCP制度に向けての対応力の向上②生活介護プログラム充実に向けての専門性の習得③幹部職員養成研修への参加	草野 荒川 額田	専門分野の習熟度が高まり、現場での実践に活用される	・下半期、食品表示法の研修や、他生活介護事業所見学を実施。 日々の業務に導入されている。SSTの研修に参加し、定期的に学習会の開催を実施している。生活介護プログラムは、活動の中心となるようなものは開拓できなかった。	△
業務の検証と改善	「働き方」に対しての、外部有識者活用の検討。 「生活介護」「就労継続B型」の活動に対しての提案等のアンケートの実施・	草野 荒川	働きやすい職場になったと実感できる。 充実した活動の展開。	職員休憩時間確保の取り組みに進展が見られた。業務改善について、職員間で話し合い、具体的な改善に取り組んでいる事例もある。取り組み途上のももあり、次年度に引き継ぎ改善を図っていく。	△

## 〔7〕 防災

実施月	実施内容	対象	振り返り
9月、令和2年3月の 2回の実施	避難訓練	全利用者	・訓練に対しての、慣れ感が漂う。消防署絡めての訓練の必要性。
9月	消防用設備点検	全設備	安全性の確認

## 〔8〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒／転落	1	階段からの転落により打撲。
ケガ	1	作業場で接触し、頭部外傷。
利用者トラブル	0	
車両	0	
物品破損	0	
その他	1	トラッキング現象につながりそうな案件があった。

### 《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
0件				

## 〔9〕 苦情解決

苦情件数 0件

### \*SP の日中活動場面

写真は  
割愛  
しました

農作物栽培

写真は  
割愛  
しました

料理教室

## 【梅香園】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

- 1 利用者さんみんなの目標
  - ① 願掛け皿に書いた課題達成に向けて日々鍛錬、励ましあって全員ゴールへ
  - ② 5つの言葉を継続して、他者との関わり方を高める
- 2 権利擁護の確立・・・重度の方の受け止め・多様な障がい特性への対応
- 3 職員のスキルアップ・・・職員研修の工夫
- 4 記録の必要性の検証・・・映像や音声を活用しての簡単にかつ短時間での記録
- 5 人材確保のための方策を検討する・・・働きやすい職場のPRを検討
- 6 利用者さんの確保・・・紹介パンフレットやDVDの作成による広報活動

### 〔2〕 取り組みと状況報告

- 1 10月の感謝祭に向けた取り組みにて2/3の利用者がゴールした。未達成の利用者は引き続きゴール目指している。また、次年度の課題設定に向けて「チャレンジ」することを心掛けて具体的な目標設定を行っている。
- 2 継続して毎週金曜の週会にて、生活班ごとに利用者の良い点などを紹介。
- 3 「専門性を高める」をテーマに職員研修会を年4回、施設見学・情報交換会を計画通り実施出来た。また、経験年数別に職員を分けて、外部研修等へ参加することも出来た。
- 4 発作・気になる行動・身体的機能の低下に伴う様子を動画に撮影し、家族及び医療機関等との情報共有や職員による支援方法の検討に活用することが出来ている。
- 5 主任会議や職員会議での協議及び外部研修等への参加により、休憩時間の確保・時間外勤務の減少に向けた新たな取り組みを試行することが出来た。
- 6 園独自のパンフレットを作成し、来園者や説明会等で説明している。

### 〔3〕 次年度に向けて

- 1 利用者さんの新たに目標達成に向け、個別の時間を設定しながら取り組んでいきたい。
- 2 利用者さんの安心で安全なサービス提供が出来るよう取り組みたい。
  - ・4つの委員会（リスクマネジメント・給食・生活（行事）・防災）を設置し、利用者の安心・安全な生活に向けて取り組んでいきたい。
  - ・積極的に動画を撮影し、家族・医療機関等との情報共有や支援方法の検討に活用したい。
  - ・選択メニューとお楽しみメニューの充実を図り、よりよい食事提供を行っていきたい。
  - ・現在13の教室から新たな教室の開設に向け取り組みたい。
- 3 人材育成の方策を検討するとともに、職員のスキルアップを図っていきたい。

・年4回の職員研修会と施設見学・情報交換会の計画及び階層別の研修体系を考えていきたい。

4 地域活動・行事に参加・協力するなど啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきたい。

## 〔4〕利用者状況

### 【利用者状況】

■年齢区分（令和2年3月1日現在）									
	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	平均年齢	計
男		2	4	12	3	5	1	47.4	27
女	1	5	4	7	4	1	1	42.5	23
計	1	7	8	19	7	6	2	45.1	50

最年少：19歳 ・ 最高齢：85歳

■障害支援区分（令和2年3月31日現在）									
	非該当	1	2	3	4	5	6	平均区分	計
男	3	2	3	4	6	6	3	3.4	27
女	2		2	5	6	4	4	3.78	23
計	5	2	5	9	12	10	7	3.58	50

■在所年数（令和2年3月31日現在）								
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上
男	3	1			3	2	18	
女			2	3	4	3	11	
計	3	1	2	3	6	5	30	

■開所日数及び利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）														
【生活介護（生産型）】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		22	21	22	23	20	20	22	22	22	22	20	22	258
実人数	男	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	146
延べ利用日数		282	256	261	261	228	236	256	252	259	247	209	257	3,004
実人数	女	13	13	13	13	13	13	12	12	12	12	12	12	150
延べ利用日数		251	232	245	229	201	196	224	217	223	221	197	224	2,660
【就労移行支援】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		22	21	22	23	20	20	22	22	22	22	20	22	258
実人数	男	1	1	1	1	1	1							6
延べ利用日数		22	22	22	21	21	20							
実人数	女	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
延べ利用日数		44	42	44	46	37	40	44	42	39	39	39	44	500
【就労継続B型】		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		22	21	22	23	20	20	22	22	22	22	20	22	258
実人数	男	12	12	13	13	12	12	13	13	14	14	15	15	428
延べ利用日数		251	240	265	284	230	232	280	269	286	273	268	305	3,183
実人数	女	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
延べ利用日数		177	175	186	191	168	172	285	179	169	179	155	181	2,117

■工賃実績

	平成30年度実績	令和元年度実績	備 考
生活介護 (生産型)	目標3,000円 3,818円	目標3,000円 3,357円	アルミ缶つぶし・自主製品作成・北原清掃・高架下除草
就労移行支援	目標10,000円 7,593円	目標10,000円 15,528円	施設外就労：ひかりの里 清掃園内清掃等
就労継続支援B型	目標20,000円 22,120円	目標20,000円 20,959円	施設外就労：ひかりの里・足柄療護園清掃・ラレー ス/印刷・受注作業等

〔5〕日中一時事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	22	21	22	23	20	20	22	22	22	22	20	22	258
実人数	5	7	6	6	4	5	5	6	4	6	5	4	63
延利用日数													
実人数		1	1	1	1	1	1		1	1	1	1	10
延利用日数													

〔6〕相談支援・・・未実施 ⇒ 来年度より相談支援体制を1か所に集中

〔7〕令和元年度のまとめ

項目	具体的活動	実施者	到達点	実施状況	評価
利用者支援	<b>記録の必要性和改善</b> 方法:記録の必要性(映像化の推進)を検討する	坂 間	検討会での検討 内容の整理、ハード面での整備	前期同様に必要な記録は目で見える形にしてわかりやすくすることを継続している。職員の間でも意識が付き率先して画像を記録として残している。12月よりVDIを導入し、ホームと園での情報の共有も今まで以上に図れる仕組みが構築できた。	○
権利擁護	<b>権利擁護の確立</b> 方法:ホームの支援場面での職員の役割と対応の仕方からニーズの高まりに応える  KWネットの取組み	齋 藤	1) -1 重度の方を受け止めるためのハード面の整備 1) -2 多様な障がい特性に対応できるソフト面の支援の質の向上	12月より夜間支援体制加算(I)をとることが出来、職員体制を充足させるができ、それぞれの役割の中で一人一人の利用者の方達に必要な支援を考えることが出来る体制づくりができた。  相談日を園とホーム交互に設定し、日中活動とホーム生活の場面を理解いただきながら、相談員との馴染み・距離が縮まることに重きをおいた活動を実施し、相談員に話せたこと・聞きとめてもらえたことで安心感を得られた様子も伺えた。	○  ○

人材育成	<b>職員のスキルアップ</b> 方法： 1) 楽しく研修 2) 専門性を高めるための検討会 3) 稼働率算出方法の作成	坂 間 草 柳	1) テーマに講師の方に講演を依頼する 2) 作業種検討会の実施 3) 重度の方の作業の幅を拡げる	年4回の研修会が12月の精神医療の講義で終了している。他個別に研修会に出かける場面づくりも適宜行ってきた。 次年度も学ぶ場面を計画的に作り実施をして職員の支援スキルが向上し良い支援を考える力がつくことを期待している。	○
	業務の検証と改善	<b>働きやすい職場環境の整備</b> 方法: 検討会での検討	工 藤	休憩時間の確保、有給休暇の計画的付与の消化 前期同様に必要な記録は目で見える形にしてわかりやすくすることを継続している。職員の間でも意識が付き率先して画像を記録として残している。 12月より VDI を導入し、ホームと園での情報の共有も今まで以上に図れる仕組みが構築できた。	○

〔8〕 防災…11月に AED の操作方法の研修会を実施

1月に火災想定 of 通報・避難訓練を実施

〔9〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒・転落	4	給水機の前が濡れていたため・車イスの方とぶつかったため走っていた利用者とぶつかって転倒等々
服薬	1	昼食時でない薬を飲ませてしまう
ケガ		
利用者トラブル	1	無断で園外に出て行ってしまう
車輛	2	自損事故（バンパー・スライドドア）
物品破損		
その他	5	請求書が他の利用者のところに混入、個人記録の裏紙使用報告書の提出遅れ、送迎時間の未確認

《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
10月24日	ケガ	頭部裂傷 (7針縫合)	直ぐに止血し、病院に搬送する。	事故報告書を作成し対応策を協議不安定な時には利用者から離れずに複数職員で対応する。

〔10〕 苦情解決… 苦情件数 0件

写真は  
割愛  
しました

感謝祭

写真は  
割愛  
しました

新年会

写真は  
割愛  
しました

張り子

## 【あずさの家】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

- 1 権利擁護の確立・・・重度の方の受け止め・多様な障がい特性への対応
- 2 職員のスキルアップ・・・職員研修の工夫
- 3 記録の必要性の検証・・・映像や音声を活用しての簡単にかつ短時間での記録
- 4 人材確保のための方策を検討する・・・働きやすい職場の PR を検討

### 〔2〕 取り組みと状況報告

- 1 死亡事故に係る検証報告に基づいて、利用者さんの安心で安全なサービス提供が出来るようホーム会議だけでなく、主任会議・3 ホーム合同会議を開催して協議している。
- 2 梅香園での「専門性を高める」をテーマにした職員研修会に参加している。  
グループホーム・日中活動支援の全国大会や県知的障害施設団体連合会の実践報告会などの外部研修等にも積極的に参加している。
- 3 発作・気になる行動・身体的機能の低下に伴う様子を動画に撮影し、家族及び医療機関等との情報共有や職員による支援方法の検討に活用することが出来ている。
- 4 ホームページをはじめハローワークや求人サイトを通じて、職員の確保が出来つつある。

### 〔3〕 次年度に向けて

- 1 利用者さんの安心で安全なサービス提供が出来るよう取り組みたい。
  - ・支援の見直しを行うとともに、業務マニュアル及び利用者ごとの支援マニュアルを作成に取り組みでいきたい。
  - ・園で設置する4つの委員会（リスクマネジメント・給食・生活（行事）・防災）に参画し、利用者の安心・安全な生活に向けて取り組みでいきたい。
  - ・積極的に動画を撮影し、家族・医療機関等との情報共有や支援方法の検討に活用したい。
  - ・ホーム職員で勤務が組めるように、職員確保・勤務体制・業務内容について協議していきたい。
- 2 利用者さんの新たに目標達成に向け、園と協力しながら取り組みでいきたい。
- 3 人材育成の方策を検討するとともに、職員のスキルアップを図っていきたい。
  - ・年4回の職員研修会と施設見学・情報交換会の計画及び階層別の研修体系を考えていきたい。
- 4 ホームの活動を理解していただくため、地域活動・行事に参加・協力するな

ど啓蒙活動を推進し、地域・関係機関との関りを深めていきたい。

#### 〔4〕利用者状況

##### 【利用者状況】

■年齢区分（令和2年3月1日現在）									
	20歳未満	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～	70歳～	平均年齢	計
男				3	1	5	1	58.8歳	10
女		1	1	2	2		1	49.9歳	7
計		1	1	5	3	5	2	55.1歳	17
最年少：29歳 ・ 最高齢85歳									
■障害支援区分（令和2年3月31日現在）									
	非該当	1	2	3	4	5	6	平均区分	計
男			3	2	2	3		3.5	10
女			1	3		2	1	3.86	7
計			4	5	2	5	1	3.65	17
■在所年数（令和2年3月31日現在）									
	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	
男			5	1	4				
女			1	1	5				
計			6	2	9				

■開所日数及び利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
実人数	11	11	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	122
延利用日数	306	296	282	290	278	286	293	287	289	287	272	297	3,463
実人数	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	90
延利用日数	239	247	229	217	215	204	216	203	212	213	202	216	2,613

#### 〔5〕短期入所事業…ポプラの家のみ実施

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	6	6	7	6	6	6	6	6	6	6	5	6	72
延べ人数	8	7	8	7	7	9	11	8	9	9	9	7	99
延利用日数	22	19	22	21	21	27	39	21	28	27	27	19	293

〔6〕相談支援…未実施 ⇒ 来年度より相談支援体制を1か所に集中

〔7〕令和元年度のまとめ…※各事業所の課題及び実施状況  
梅香園の品質活動報告に準じる

〔8〕防災………9月に河川が氾濫した想定で避難訓練を実施

11月にAEDの操作方法の研修を実施



〔9〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒・転落		
服薬	2	就寝時の薬を飲ませ忘れ
ケガ		
利用者トラブル		
車輛		
物品破損	2	夜間にホームの外にある雨どいと壁に投石あり 支援室の鍵をかけてしまう
その他	2	療育手帳・受給者証が他の利用者のところに入っていた

《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
5月21日	死亡	入浴中に溺死	直ぐに救急隊を呼び救急措置を行う。	内部検証を行い、報告書を作成 →報告書をもとに外部委員から意見等を聴取する。

〔10〕 苦情解決… 苦情件数 0件

写真は  
割愛  
しました

そら豆の収穫

写真は  
割愛  
しました

木まつり

写真は  
割愛  
しました

BBQ

## 【わらべの杜】 令和元年度 事業報告書

### 〔1〕 運営目標

児童の安心・安全な生活の確保、本人・保護者に寄り添いながら丁寧な移行支援を実施。過齢児 1 名の移行先の調整等、中学生・高校生が半数以上を占めるようになり、より地域移行への支援が多くなっています。

移行後の定員の確保にも不安定さがあり、児童の生活の安定と入所ニーズとのマッチングの難しさもありますが、児童相談所との連絡調整をしっかりとこなっていくことで、受け入れについての丁寧な対応を心がけていきたいと考えています。

### 〔2〕 取り組みと状況報告

高 3 生 1 名については昨年 9 月にすでに移行し、心配されていた施設入所支援の利用が可能となった。幸いにも、地元の施設での受け入れをしていただき、地域でのつながり等の大切さも感じました。

高等部児童が多いため、進路にかかるカンファレンス等の職員の動きが活発であり、外出せざるを得ない状況が続いています。そのため、人員配置的に厳しくなってしまうことも生じてしまうため、そのことでの事故等がないよう気を付けているところです。しかしながら職員に過剰な業務等の動きがある場合においては、権利擁護にかかる課題の発生リスクも高くなることも予想し、今後も引き続き児童の権利擁護については研修等含めて取り組みをしていく所存です。

年度末頃にはコロナウイルスの関係から休校となっしまい大変な思いをしましたが、子どもたちはストレスを感じながらも落ち着いて生活をする事ができていました。

### 〔3〕 次年度に向けて

今年度の取り組みからも、地域移行にかかる動きは大きな課題として続きます。とくに施設入所支援を希望する場合や、在宅復帰を目指す場合等、慎重かつ丁寧な対応が求められます。本人の意向を確認し、ご本人の望む将来と生活の確立に向けて、少しでも役に立っていただけるよう取り組んでいきます。

また、子ども会議だけでなく、権利擁護にかかる意識向上に努め、研修等を含めてすすめていきます。併せて職員研修でも変化をつけた研修の実施をしていきたいと考えています。



《県西地区障害者文化事業》 左：ダイナシティ賞 タイトル「TV ボード」(つよぼん)  
右：コンクール金賞 タイトル「わらべハウス」(3寮合作)

## 〔4〕利用者状況

### 【利用者状況】

#### ■年齢区分（令和2年3月31日現在）

	6歳未満	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18～19歳	20歳～	平均年齢	計
男	0	6	10	9	1	0	13.5	26
女	0	2	2	6	0	0	14.4	10
措置	0	7	9	14	1	0	13.9	31
契約	0	1	3	1	0	0	13.0	5

最小年齢：8才 ・ 最高年齢 19才

#### ■在所年数（令和2年3月31日現在）

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満	2年～3年未満	3年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年以上
男	1	3	2	2	6	12	0	0
女	1	1	1	0	3	4	0	0

#### ■開所日数および利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数		30	31	30	31	31	30
実人数	男	29	29	27	28	28	28
延べ利用日数		858	899	810	868	868	840
実人数	女	11	11	11	11	11	11
延べ利用日数		330	341	330	341	341	326

		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		31	30	31	31	29	31	366
実人数	男	28	28	28	29	29	29	340
延べ利用日数		868	840	868	900	841	885	10345
実人数	女	11	11	11	11	11	11	132
延べ利用日数		341	341	341	341	313	338	4024

#### ■療育手帳程度別在所者数（令和2年3月31日現在）

	最重度	重度	中度	軽度	
					手帳無し
男	4	3	2	17	0
女	3	2	0	5	0

#### ■平成31年度新規入所児年齢

	6歳未満	6～11歳	12～14歳	15～17歳	計
男	0	2	1	2	5
女	0	0	2	1	3
措置	0	1	2	3	6
契約	0	1	1	0	2

#### ■平成31年度退所児者の状況①（令和2年3月31日）

	6歳未満	6～11歳	12～14歳	15～17歳	18歳以上	計
男	0	0	0	0	7	7
女	0	0	0	0	3	3
措置	0	0	0	0	8	8
契約	0	0	0	0	2	2

#### ■平成31年度退所児者の状況②（令和2年3月31日）

	障害者支援施設	グループホーム	在宅	他
男	2	4	1	0
女	1	2	0	0
措置	1	6	1	0
契約	2	0	0	0

〔5〕短期入所事業及び一時保護

【利用者状況】													
■短期入所													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	8	6	6	8	11	8	8	7	7	5	4	0	31
延べ人数	9	8	8	11	19	11	12	8	10	8	6	0	44
延べ利用日数	28	35	26	44	50	34	33	31	27	21	19	0	131
■一時保護													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実人数	2	1	1	2	2	2	2	1	2	1	2	2	10
延べ人数	2	1	1	2	2	2	2	1	3	1	3	5	15
延べ利用日数	36	30	3	9	27	26	13	19	37	31	46	54	200

〔6〕相談支援

新規相談 6件、モニタリング 43件

〔7〕令和元年度まとめ ※各事業所の課題および実施状況

項目	具体的活動	実施者	到達点	(評価○・△・×)	
				実施状況	評価
利用者支援	各寮にてこども会議を実施していく	全寮	児童の生活の質の向上	子ども会議は実施できている。具体的内容や、会議設定等、今後向上させていくことの課題も見えてきた。	○
権利擁護	【3寮】高等部3年3名の進路について、本人の気持ちを確認しながら関係機関と連携を図り、円滑な地域移行を目指す	3寮職員 相談支援専門員 課長補佐以上	進路の決定	1名の移行は9月にでき、残り2名のうち1名は生活・日中活動についても決定できた。1名も意向を確認しながらほぼ決定してきている。より丁寧な聴き取りから、本人の望む生活へ向けて取り組んでいきたい。	○
	【2寮】子どもたちが自主的に意見を言えるように子ども会議の充実を図る	2寮職員	職員からの発言だけでなく、児童、生徒が話し合いたい内容を自ら発信できるようになる	意見を出しやすい雰囲気作りに加え、担当する職員をかえていくことで、違った意見が出やすいように工夫してきた。いろいろな意見が出やすくなってきている。	○
	KWネットの取り組み	全職員	児童からの相談に相談員がのることで、困り感の緩和、解決につながる	あまり相談という状況にはならず専ら話を聞いていただいたりコミュニケーションをとることが中心であったが、子どもたちにとっては良い存在の相談員であった。	○
人材育成	主幹会議を通し、各寮での職員の悩みや疑問を共有することで職員のスキルアップにつなげていく	主任以上	職員全体のポトムアップ	一部の常勤職員の入れ替わりもあり、実質的な効果としては弱かった。”伝えるべきこと”、”伝えたいこと”をもっと直接的に話せる場面の必要性も感じた。	△
検証業務と務改の善	【1寮】安全面に配慮した支援および環境設定をおこなう	1寮職員 環境設備委員会	安全面に配慮した環境設定を行えた。それにより安全な支援が展開できた。	行動特性の強い児童への対応として、リビング内の分離や防火に対応した環境設定を行ってきた。一部破損等もされてしまい見直しを迫られたが、現在も環境設定は検討しながらすすめている状況。	△

## 〔8〕 防災

実施月	実施内容	対象	振り返り
4・7・9・10・11・ 12・1月・3月	避難・通報・消火	全利用者	緊張感を持って取り組むことが課題
6・2月	【夜間】避難・通報		時期を考え、寒さ対策も必要
2月	22分団合同訓練		実施予定

## 〔9〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒／転落	0	なし
服薬	4	定時服薬の飲み忘れ。主治医との確認のもと時間差にて服薬。
ケガ	0	通院が必要となるケガはなし。
利用者トラブル	0	大きなものはなし。
車両	3	車両側面を電柱に接触。修理済。サッカーボールにて車両側面に凹み。
物品破損	1	1寮トイレ（大便器）が全壊。現在は修理済。
その他	0	

《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
7月 17日	所在 不明	実習の不安から通勤途中で不明	すぐに施設長および児童相談所へ報告。可能な職員への動員と半日ほどの搜索。	経過を見て警察へ搜索願いを提出。その後実家にて見つかるが帰園を拒否、一時保護所で2週間過ごした後、帰園。

## 〔10〕 苦情解決

件数 0件

写真は  
割愛  
しました

宝永山 登山

写真は  
割愛  
しました

クリスマス・パーティ

# 【どーむ (童夢)】 令和元年度 事業報告書

## 〔1〕 運営目標

本人、保護者の思いに寄り添い、思いの共有と共感、達成感の積み重ねをしていくことで、将来に向けた基本的な生活習慣、対人コミュニケーション、言語等、様々な成長を支援していくことを目指します。

## 〔2〕 取り組みと状況報告

開所時には4名の契約でしたが、現在は19名となりました。まだ定員までは至っていませんが、今後も周知を行いながら必要な方々への支援を実施していきます。

利用している子どもへの療育をより向上させていくため、併行通園先の幼稚園や保育所を訪問し、情報共有だけでなく個別支援に生かしていくための取り組みを実施してきました。療育機関としての見立てと保育や心理発達相談としての見立てを整理し、事業所として何ができるかを考え、日々、改善に取り組んできています。

子どもの発達の段階に合わせた療育プログラムも他機関研修を踏まえて向上させてきました。

年度末には新型コロナウイルスの関係で事業運営が心配されることもありました。感染予防については隣接する児童入所施設とともに取り組みましたが、利用されていたご本人、保護者の方々にはご苦勞をおかけし、申し訳なく感じる年度末となりました。

## 〔3〕 次年度に向けて

事業運営の安定にはまだ課題が残っており、次年度に向けて引き続きニーズの把握に努め、事業所として地域貢献できる内容に改善していきます。

新型コロナウイルスの関係から、どこまで影響が継続的に発生するのかわかりませんが、何かしら少しでも支援できるよう早期対応に努めていきたいと思えます。

療育では就学に向けたお子さんたちの気持ちの準備や保護者の方々の不安に少しでも寄り添うことができるよう面談の機会等を設定し、一緒に成長していくことができるよう取り組んでいきたいと考えています。

また、コミュニケーション力や社会性、ルールの理解など、一つずつスモールステップで子どもたちの成長を促しながら、さらなるプログラムの充実と職員のスキルアップ、併行通園先との連携を図り、発達支援、家族支援、地域支援に力を入れ、1年ごとにステップアップしていくことを目指し、職員一同全力で取り組み、積極的な活動ができるようさらに体制整備を進めていきます。

#### 〔4〕利用者状況

【利用者状況】								
■年齢区分（令和3年3月31日現在）								
	3歳未満	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児以上	平均年齢	計	
男	0	0	3	7	5	4.9	15	
女	0	0	0	1	0	5	1	
最年少：4才								
■利用年数（令和2年3月31日現在）								
	1ヶ月未満	1ヶ月～3ヶ月未満	6ヶ月～1年未満	1年～2年未満				
男	0	2	13	0				
女	0	0	1	0				
■開所日数および利用者数・利用日数（令和2年3月31日現在）								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
開所日数		21	20	21	20	19	19	
実人数	男	4	4	4	8	12	13	
延べ利用日数		19	15	18	32	37	48	
実人数	女	0	0	0	0	0	0	
延べ利用日数		0	0	0	0	0	0	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数		20	20	20	19	19	21	239
実人数	男	13	12	14	14	15	15	128
延べ利用日数		29	55	50	51	61	43	458
実人数	女	0	1	1	1	1	1	5
延べ利用日数		0	3	3	3	2	4	15
■住所地（令和2年3月31日現在）								
	小田原市	中井町	大井町	松田町	開成町	秦野市	伊勢原市	二宮町
男	12	3	0	0	0	0	0	0
女	1	0	0	0	0	0	0	0
■入退所状況（令和2年3月31日現在）								
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	
入園	男	4	0	0	4	4	0	
	女	0	0	0	0	0	0	
退園	男	0	0	0	0	0	0	
	女	0	0	0	0	0	0	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入園	男	0	1	1	0	1	0	3
	女	0	1	0	0	0	0	1
退園	男	0	0	0	0	0	5	5
	女	0	0	0	0	0	0	0
■利用の経緯（令和2年3月31日現在）								
	発達相談	市町子育て	健康づくり課	他				
男	12	3	0	0				
女	1	0	0	0				
計	13	3	0	0				

〔5〕 令和元年度まとめ ※各事業所の課題および実施状況

項目	具体的活動	実施者	到達点	(評価○・△・×)	
				実施状況	評価
利用者支援	大切な幼児期の個別の発達課題に合わせた支援展開を行い、活動の安定を目指します	全職員	活動・運営の安定	まだ定員いっぱいになっておらず、周知不足等も課題として残っています。少しずつ増えています。今後の課題として取り組んでいきます。	△
権利擁護	子どもの気持ちに寄り添った支援の展開を実施	全職員	子どもたちが安心して話ができる	子どもとの関係をしっかりと構築するためには時間が必要であり、これからも子どもの声に耳を傾けていきたいと思っています。	○
人材育成	子どもの状態を常に把握し、職員全員で情報共有できるよう引継ぎやカンファレンスができる場面の設定をつくりあげていきます	全職員	すべての子どもの情報共有ができた	ど一む会議や療育支援会議を実施し情報の共有に努めたが、非常勤含めた丁寧な共有には至っていない。他の保育所等とのカンファレンスも実施してきたが、全ての子どもに対するカンファレンスの実施にはならなかった。	○
検証業と務改の善	日々の支援について職員会議で見直し、より良い支援につながるができるよう改善していきます	全職員	繰り返しの改善により環境整備から支援の向上につながることができた	見直しではまだ不十分な面もあり、環境整備も一歩ずつとなっている。今の環境から最適な支援を検討し向上させる努力をしている。	△

〔6〕 防災

実施月	実施内容	対象	振り返り
4月・5月・6月・7月・8月	避難・通報・消火	全利用者	避難誘導のアナウンスにきちんと耳を傾け指示に従うことができるよう取り組んだ。

〔7〕 リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒／転落	0	
服薬	0	
ケガ	0	通院の必要のあるケガ等はありませんでした。
利用者トラブル	0	子ども同士の小さなトラブルはありつつも、大きなトラブルとなることはありませんでした。
車両	0	
物品破損	0	
その他	0	



《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
		なし		

## 〔8〕 苦情解決

件数 0件

写真は  
割愛  
しました

お花の種植え

写真は  
割愛  
しました

遠足 平塚運動公園

写真は  
割愛  
しました

大好きな給食

# 【 ぽけっと 】 令和元年度 事業報告書

## 〔1〕 運営目標

障害者就業・生活支援センターとして、「就職や職場適応などの就業面の支援や、生活習慣の形成や日常生活の管理など生活支援が必要な障害者に対して、就業に伴う日常生活、社会生活上の支援を行い、身近な地域で就業面及び生活面で一体的かつ総合的な支援を提供し、職業生活における自立を図る」を目的とした事業運営を基本に、職員のスキルや経験を活かしたライン制を構築し、より効果的な支援提供を目指す。またこれまで取り組んできた虐待防止体制を維持しながら、より良い相談支援の場として取り組めるように、スーパーバイズを学び、各自の相談スキルの向上を図ることを運営目標とする。

## 〔2〕 取り組みと状況報告

障害者支援センター「ぽけっと」は①「障害者就業・生活支援センター事業」については、県西障害保健福祉圏域において、障害種別を問わず障害のある人の就業に関する相談や支援および生活支援を行った。②「特定相談支援事業」においては、福祉サービスの利用に関するサービス等利用計画の作成をし、きめ細かな相談支援を行ってきた。

①の事業については、就職者数などの数値目標を掲げ達成に向けた積み上げを行い。概ね目標数値に近づいた。「ぽけっとピア」（精神障害者で在職中の登録者が複数参加する座談会）については、上半期に続き計4回開催し、職場定着に効果を上げる支援の実施を試みた結果、参加者に関しては離職者ゼロであった。内容は昨年度同様、臨床心理士の方を講師に招き「ストレス解消・回避法」を行い、登録者自身がストレス傾向に気づき対処法を学ぶことができた。

②の事業については、契約している利用者に対するサービス等利用計画の更新、モニタリングを定期的に行い、ケアマネジメントを通じた支援を安定して行った。加えて、地域自立支援協議会の相談支援部会にも参画し、地域との連携を強化する取り組みも行った。

## 〔3〕 次年度に向けて

①引き続き、ライン制を維持しての就労支援の強化を図る。同時に年2回の「ぽけっとピア」「ピアサポート」、中小企業における担当者同士の交流会を実施する。また、職員の資質向上のための所内研修の充実を図り、当事者支援の中で同じ風景を見られるようなスキル研修に取り組むを行う。

②「ぽけっと」から切り離し、法人全体を対象とした新たな組織を立ち上げ行っていく事とする。

#### 〔4〕登録者状況

■開所日数及び延べ相談支援件数(令和2年3月31日現在)							
月別							
		4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数		24日	23日	23日	25日	24日	22日
	男	153	195	175	197	192	194
	女	110	102	127	131	96	112
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
開所日数		24日	22日	23日	22日	20日	22日
	男	196	161	173	144	179	185
	女	130	93	101	108	133	148
							計
							274日
							2144
							1391
市町村別							
小田原市	箱根町	真鶴町	湯河原町	南足柄市	中井町		
1714	130	42	240	487	58		
大井町	松田町	山北町	開成町	その他	計		
190	138	142	53	341	3535		
■就業支援年間実績(令和2年3月31日現在)							
新規登録者数	職場実習 斡旋数	就職者数	1年以上 離職者数	1年以内 離職者数			
67(26)	38(28)	44(21)	20(11)	5(2)			
( )内は精神障害者の数を表す							

#### 〔5〕相談支援

新規相談 1件、モニタリング 203 件

#### 〔6〕令和元年度事業報告 ※各事業所の課題および実施状況

項目	具体的活動	実施者	到達点	実施状況	評価
権利擁護	登録者を対象とした差別や不自由さに関するアンケート調査の実施とそのフィードバックをぼけっとにしていく。	全職員	防止体制の形成 フィードバックの数値化	4月～6月 アンケート調査の内容検討 7月 アンケート案の確認 8月 アンケート調査の開始 アンケート回答件数を100を目標にした。⇒結果より	○

				<p>相談受付の時間帯、場所について検討をすることとした。</p> <p>・差別を受けた、と感じた場面、場所として会社を選択した答えが 50% あった。一方、相談できる相手として、会社の上司等を選択した答えは 23%であった。そのことから、ナチュラルサポートを目指す支援がまだ十分ではないかもしれない、との見解となった。</p>	
人材育成	<p>支援記録をより良いものとするための職員会議での振り返り。</p> <p>ケース検討会を定期的 に開催して、<u>グループスーパーバイズ (SV)</u> を取り入れていく。</p>	全職員	ボトムアップ型の組織力の形成	<p>支援記録をより良いものとするために、テンプレートを作成して導入を進めた。</p> <p>職員会議での振り返りを 2 度実施して、書き方、記録のポイント、工夫などを共有した。ただ、全職員が同レベルになっていない現状も出てきた。</p> <p>6 つの帽子思考法という手法を用いて、困難ケースを中心にケース検討会を行った。担当している職員が負荷やストレスを抱えてしまわないよう、全職員で支援の在り方やかかわり方を検討し、SV が出来る組織を目指して行った。</p>	○
業務の検証と改善	PKP (ぼけっと改善プロジェクト) の活動を組織に位置付けて実施する。	PKP 担当職員	より良い職場環境	<p>月 1 回のプロジェクトミーティングを実施して、内容を職場環境や業務遂行に反映する取り組みを行った。</p>	○

## [7] リスクマネジメント（事故報告）

種類	回数	内容等
転倒／転落	0	—
服薬	0	—
ケガ	0	—
利用者トラブル	0	—
車両	0	—
物品破損	0	—
その他	1	作成したサービス等利用計画の市町村への提出の際に、控えを市町村のコピー機で複写して、原本を置き忘れてしまった。

《重大事故》 ※県・市町へ報告

日付	種類	内容	対処	対応・対策
0件	—	—	—	—

## [8] 苦情解決

苦情件数 0件

写真は  
割愛  
しました

ぼけっとピア

写真は  
割愛  
しました

心のスキルアップ勉強会

写真は  
割愛  
しました

登録者忘年会